

CRESCO 

2026年3月期 通期 連結
アナリスト向け決算説明会

2026年5月11日



1 決算のポイント



1.1. 2026年3月期の主な取組み

■ 組織および体制関連

□ 2025年4月1日付組織再編

- ・ 「自動車・輸送機器」分野における開発力・提案力の強化を目的として、「インダストリアルビジネス本部」を再編し、「モビリティDXビジネス本部」を新設。
- ・ 営業力の強化を目的として、「マーケットディベロップメント本部」を新設。
- ・ 当社事業の全方位的な推進力を強化するため、執行役員を充実化し体制整備。

□ 2025年4月1日付で、当社の連結子会社である(株)クレスコ・ジェイキューブが、統合によるシナジー効果の最大化とビジネスの拡大を目的として、同社の子会社である(株)高木システムを吸収合併。

□ 2025年7月9日 新開発拠点“Teq-C”を開設。

□ 2025年8月25日 当社の連結子会社であるクレスコ北陸(株)が、製造業向けシステム開発を得意とする(株)エイプスの買収を決議。

□ 2025年9月9日 当社の子会社である(株)クレスコ・ジェイキューブが、IBMビジネスに強みを持つ (株)アイエステクノポートの買収を決議。

□ 2026年2月24日 製造業向けシステム開発に強みを持つ(株)オフィスメーションの株式を取得し、子会社化。



■ 事業関連

- 当社の連結子会社である**(株)アイオスが、三菱UFJ信託銀行(株)との間で、システム開発とそれに付帯関連する業務におけるIT技術者の長期的、安定的な確保を目的として、2025年5月1日より10年間のパートナーシップ基本合意書を締結。**
- 2025年8月 Sonar社（スイス）とビジネスパートナー契約を締結。**国内初の「SonarQube ゴールドリセラーパートナー」となり、「Trust Code Hub」の提供を開始。**
- 10月 **「Creage SIEM+」にてMicrosoft Sentinelの取扱いを開始。**
- 10月 **UiPath社のパートナー認定2つにおいて最上位ティアである「Diamond」に認定。**
- 11月 **「EdgeTech+ 2025」に、当社が参画している「Open SDV Initiative」が開発するSDV（Software Defined Vehicle）の操作体験デモを出展。**
- 2026年2月 **生成AIを活用したマイグレーション加速の取組みを公表。**
（生産性50%向上）

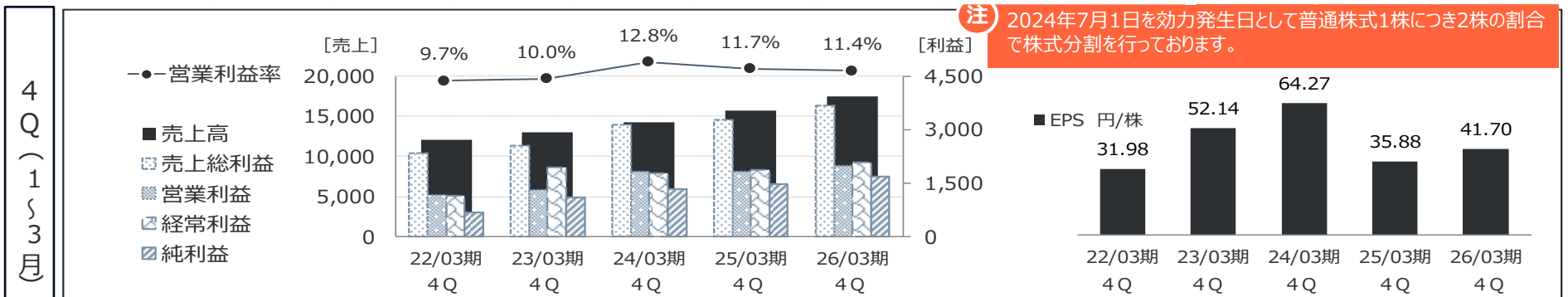
1.2. 売上高・利益

【注】（ ）内の数字は各々の利益率を表します。
 【注】「純利益」は「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」です。

- 地政学リスク顕在化等による企業の業績悪化懸念も、IT投資需要は依然として旺盛。業種別に濃淡はあるものの、主要顧客を中心に売上が増加、新規連結効果もあり、前年度比（以下%表示は全て前年度比）+10.1%の増収。
- 営業利益は+10.4%、経常利益は+11.0%それぞれ増益。
- 法人税の特別控除（賃上げ促進税制等）適用、また投資有価証券を圧縮に伴う売却益計上により、純利益が+19.8%増益。

[単位：百万円未満切捨]

| | | | | | | 通期 業績予想 | |
|---------|----------------|----------------|-----------------------|---------------|---------------|---------------|--------|
| | 24/03期 | 25/03期 | 26/03期 | 前年同期比 | 対通期達成率 | 25/5/9 予想 | 前年同期比 |
| 通期 | | | | | | | |
| 売上高 | 52,755 | 58,760 | 64,676 | 110.1% | 101.1% | 64,000 | 108.9% |
| 売上総利益 | 10,337 (19.6%) | 11,779 (20.0%) | 13,110 (20.3%) | 111.3% | | | |
| 営業利益 | 5,121 (9.7%) | 5,983 (10.2%) | 6,605 (10.2%) | 110.4% | 94.4% | 7,000 (10.9%) | 117.0% |
| 経常利益 | 5,658 (10.7%) | 6,290 (10.7%) | 6,980 (10.8%) | 111.0% | 97.8% | 7,140 (11.2%) | 113.5% |
| 純利益 | 3,728 (7.1%) | 4,405 (7.5%) | 5,279 (8.2%) | 119.8% | 107.7% | 4,900 (7.7%) | 111.2% |
| EPS 円/株 | 90.06 | 106.89 | 129.82 | | | 121.29 | |

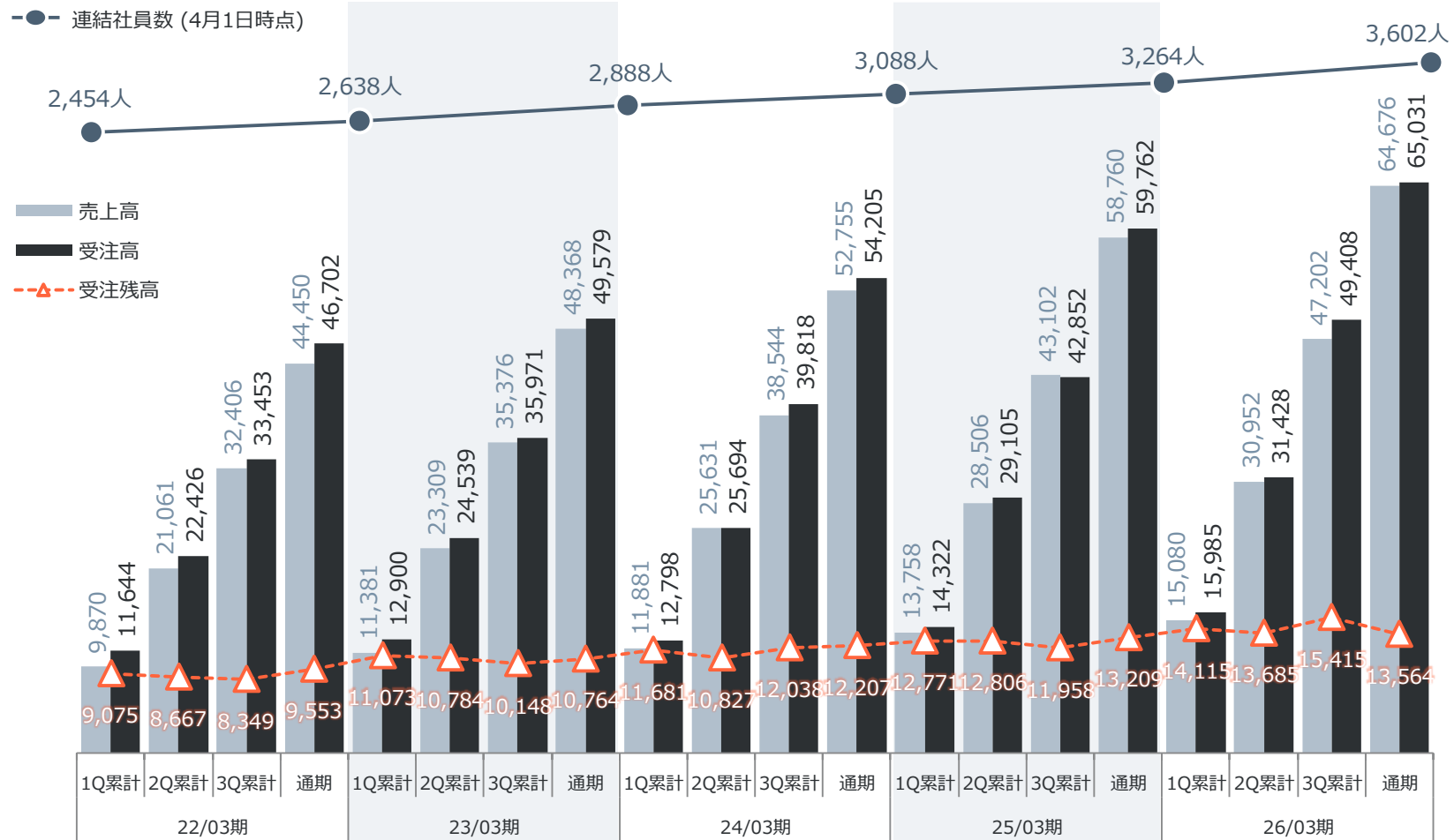


1.3. 受注高・受注残高

[単位：百万円未満切捨]

- 旺盛なIT投資需要を背景に、受注高と受注残高は堅調に推移。
- 企業のDX推進に向けた活発な動きは継続。新規連結効果もあり。

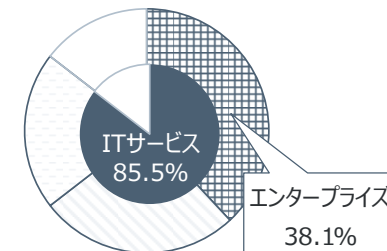
<受注高> 前年通期累計比 108.8 %
 <受注残高> 前年同期比 102.7 %



1 決算のポイント 1.4. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：エンタープライズ]

| セグメント | | サブセグメント |
|------------|-------------------------------------|---|
| IT サービス | ・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス | エンタープライズ 情報・通信・広告、流通サービス、運輸、 人材紹介・人材派遣、公共、資源・エネルギー、 建設・不動産、旅行・ホテル、医療・ヘルスケア、その他 |
| | | |

<セグメント別の売上高比率:4Q(1~3月)>



■ **売上高：240億8百万円**（前年同期比 **8.9%** ↑）

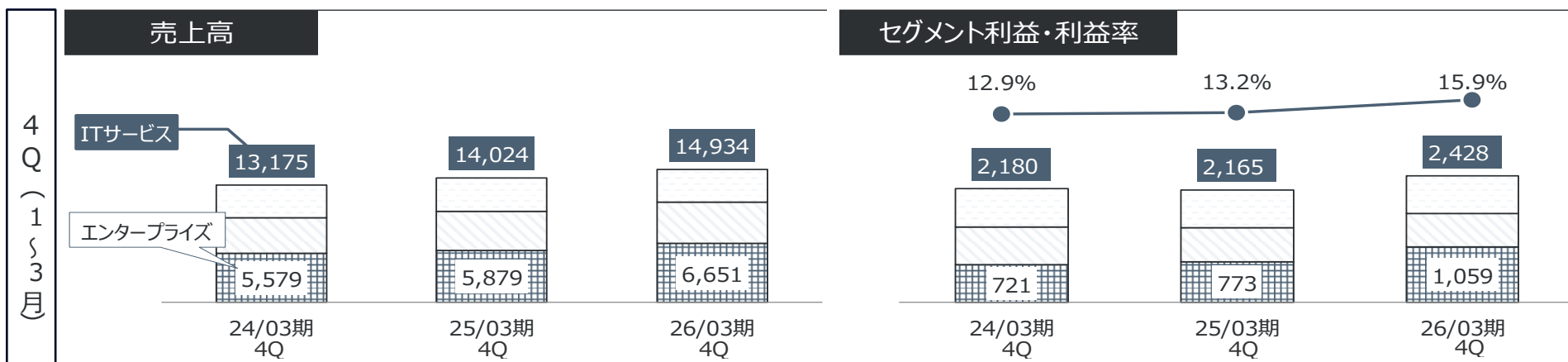
・「情報・通信・広告」分野において当社及び一部の連結子会社でアプリケーション開発支援業務が増加したため。

■ **セグメント利益／利益率：32億96百万円／13.7%**（前年同期比 **31.9%** ↑）

・売上高と同様の理由に加え、前年同期に「人材紹介・人材派遣」分野において発生していた当社の不採算プロジェクトが収束したため。

[単位：百万円未満切捨]

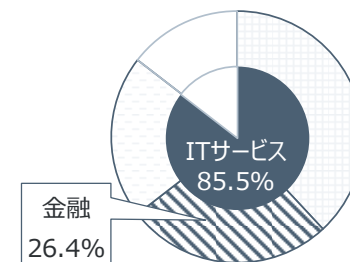
通
期



1 決算のポイント 1.5. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：金融]

| セグメント | | サブセグメント | |
|------------|-------------------------------------|---------|-----------|
| IT サービス | ・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス | 金融 | 銀行、保険、その他 |
| | | | |

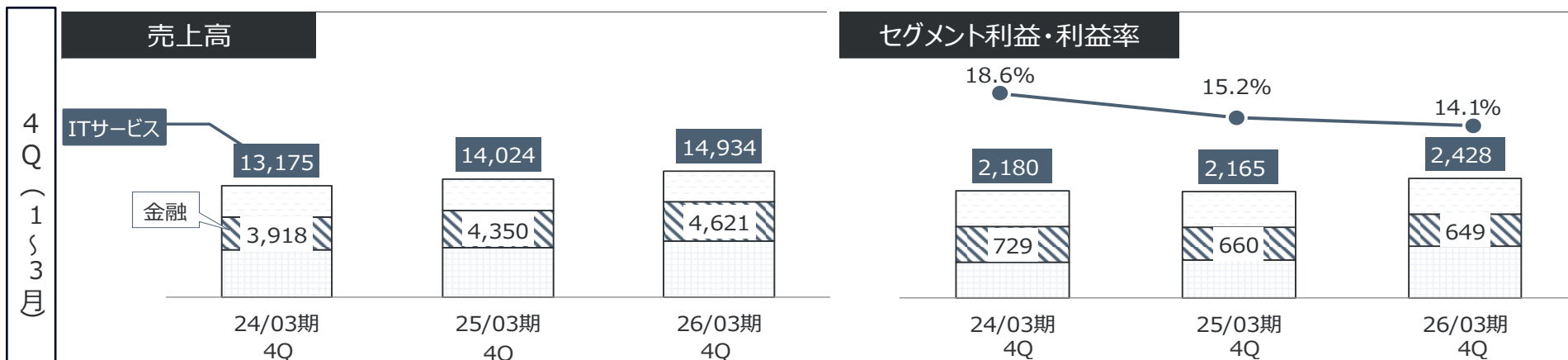
<セグメント別の売上高比率:4Q(1~3月)>



通期

- **売上高：174億27百万円**（前年同期比 **1.5%** ↑）
 - ・銀行分野において増加の一方、保険分野では減少。全体としては横這い。
- **セグメント利益／利益率：22億8百万円／12.7%**（前年同期比 **7.7%** ↓）
 - ・「その他」分野において一部の連結子会社で不採算プロジェクトが発生したため。

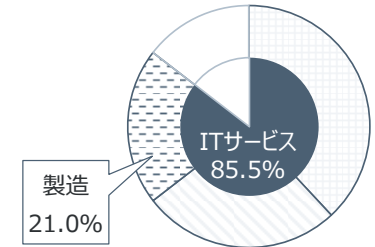
[単位：百万円未満切捨]



1 決算のポイント 1.6. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：製造]

<セグメント別の売上高比率:4Q(1~3月)>

| セグメント | | サブセグメント | |
|------------|---------------|---------|--------------------------|
| IT サービス | ・コンサルティング | 製造 | 自動車、輸送機器、機械・エレクトロニクス、その他 |
| | ・IT企画 | | |
| | ・開発・保守の総合サービス | | |



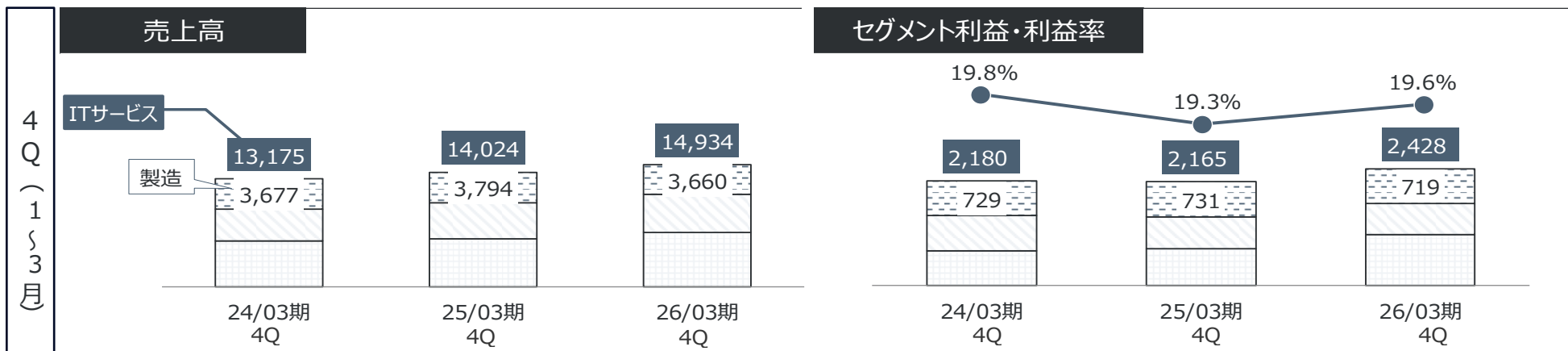
■ **売上高：139億28百万円**（前年同期比 6.3% ↓）

・「機械・エレクトロニクス」分野におけるメーカーの製品開発プロジェクトの中止や延期の影響を大きく受けたため。

■ **セグメント利益／利益率：25億34百万円／18.2%**（前年同期比 9.0% ↓）

・売上高の減少と同様の理由。

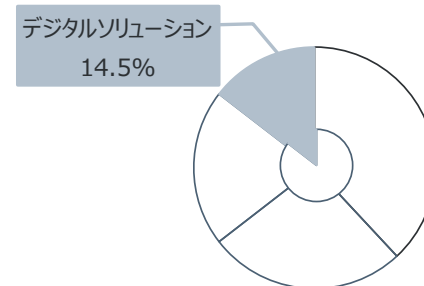
[単位：百万円未満切捨]



1.7. セグメント別売上高・利益 [デジタルソリューション事業]

| セグメント | 事業 |
|-------------|---|
| デジタルソリューション | 顧客のDX実現を支援する製品・サービスからなるソリューション群 <主な製品・サービス名> クラウド関連サービス (Creage等)、Robotics関連サービス (UiPath等) ERP導入関連サービス、開発品質向上サービス (TrustCodeHub等) |

<セグメント別の売上高比率:4Q(1~3月)>



通期

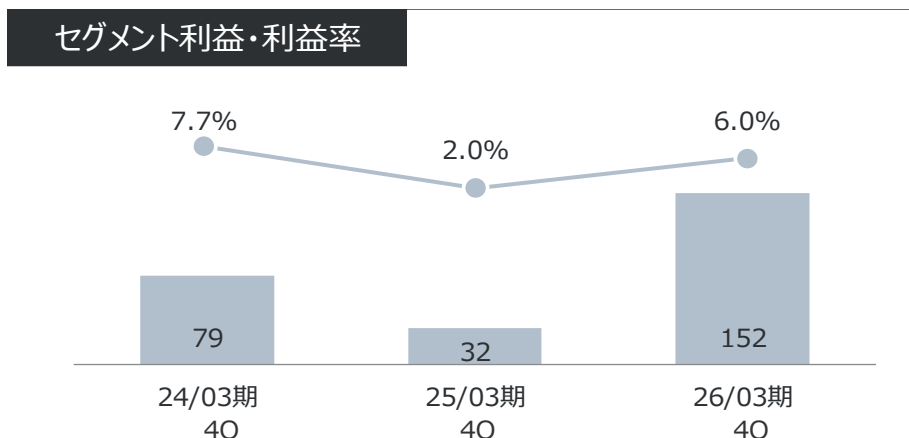
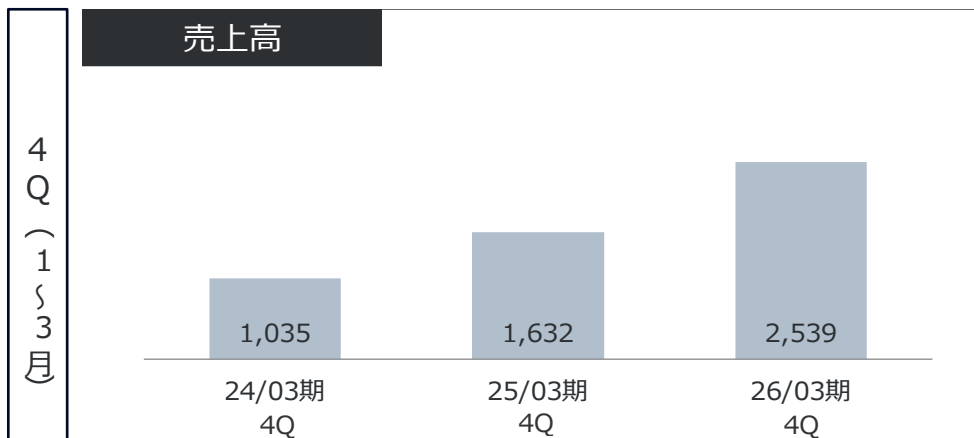
■ 売上高：93億12百万円（前年同期比 99.1% ↑）

・当社及び一部の連結子会社において、製品・ライセンスの販売及び導入支援が大幅に増加したことと、(株)高木システム、(株)エイプス、(株)アイエステクノポートとデジタルソリューションに強みを持つ会社を取得した効果によるもの。

■ セグメント利益／利益率：8億15百万円／8.8%（前年同期比 388.1% ↑）

・売上高の増加と同様の理由。

[単位：百万円未満切捨]





2

中期経営計画2026の 進捗状況



『中期経営計画2026 (2024~2026年度)』2年目の2026年3月期は、売上高646億円は期初予想を上回ったが、営業利益率が不芳で、営業利益66億円と期初予想を下回った。ROEは中計目標を上回った。

公表用資料から抜粋

| | 2024年3月期 実績 | 中計2026 目標 (2027年3月期) | 2026年3月期 実績 | 進捗率 |
|---------|-------------|-------------------------|-------------|-------------------------------|
| 連結売上高 | 527億円 | 700億円 | 646億円 | 68.6% (3年増収計画額に 対する進捗率) |
| 連結営業利益額 | 51億円 | 80億円 | 66億円 | 51.7% (3年増益計画額に 対する進捗率) |
| 連結営業利益率 | 9.7% | 11.5% | 10.2% | ▲1.3%pt (最終計画値との差) |
| ROE | 14.3% | 15%以上 | 16.4% | +1.4%pt (最終計画値との差) |

ご参考  2.2. 中期経営計画2026_7つの戦略_取り組み状況

| 成長戦略 | 2025年度の取り組み状況 | 通期実績 |
|-----------------------|---|---|
| 共創型モデルの確立 | <ul style="list-style-type: none"> ・アカウント別戦略推進 ・顧客の企業価値を向上させる提案力強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・アカウント別戦略の実行、および戦略パートナーの拡大、および候補対象の明確化 ・共創深化に向けた顧客との共同活動を展開 |
| 品質リーダーシップ発揮 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続した全社品質活動による不採算PJ撲滅 ・リスクマネジメント・指摘事項のトラッキング強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続活動で不採算PJの大幅減少を実現 ・指摘事項のトラッキング強化実行 |
| 人的資本経営推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・プロセスを見直し更なる採用強化 ・エンゲージメント向上に向けた各種施策の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・採用強化による新卒・外国籍人材採用数の目標達成 ・エンゲージメントスコア向上委員会組成と各種施策の強化 |
| 技術・デジタルソリューション(DS)の拡張 | <ul style="list-style-type: none"> ・DSビジネス拡張 ・顧客へのソリューション提案推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・DSビジネス拡張で継続したDS利益率の大幅改善 ・新規DSリリース(Trust Code Hub)を推進 |
| 事業連携促進 | <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスパートナー(BP)との関係性強化 ・アライアンスパートナーとの提案・連携実績創出 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存BPの離脱防止施策の実施 ・ビジネスマッチする企業選定・アプローチ開始 |
| デジタル変革実現 | <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析基盤の構築・活用 ・生成AI活用による開発生産性向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析基盤の構築(10月リリース完了)と運用改善 ・車載システム設計への生成AI適用、生成AIを活用したリバーエンジニアリング高度化 |
| グループ一体経営 | <ul style="list-style-type: none"> ・Gr戦略アカウント・営業連携推進 ・コーポレート機能集約化の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・Gr戦略アクション実施とGr内の案件トスアップと協業強化 ・Grリーガルサービスの開始、Gr基盤検討 |

2 中期経営計画 2026進捗 2.3. キャッシュアロケーション方針

- 3年間で200億円を株主還元と投資に充てる計画。2026年3月期は配当21億円のほか合計73億円、中期経営計画2か年で計132億円を投資した。
- 2027年3月期には、増配と自社株買いによりさらなる株主還元を行うことを公表済。

キャッシュイン

- ・**連結売上の2ケタ成長**の実現
- ・生産性向上、デジタルソリューション比率の拡大に伴い収益性は改善見込み

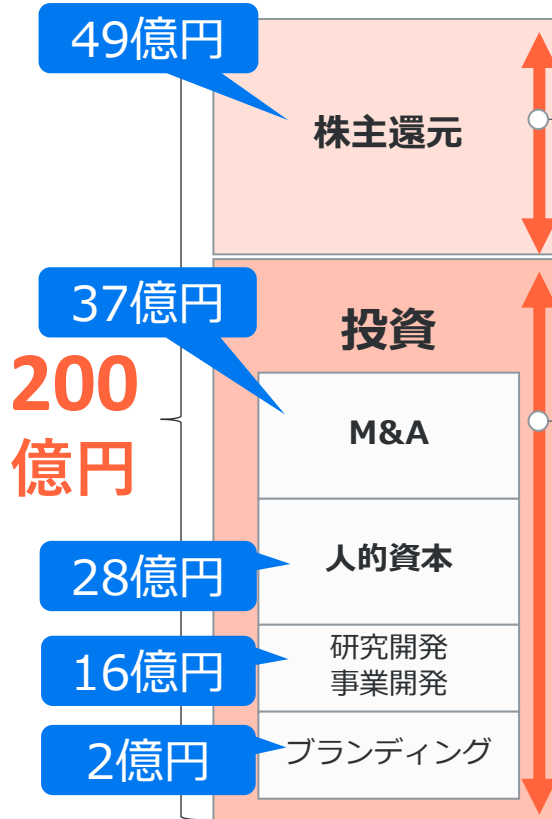
事業からの
キャッシュイン

手元資金

保有資産最適化
資金調達

- ・財務健全性を保持できる範囲における**財務レバレッジの引き上げ**

24・25年度累計



アロケーション

- ・株主還元の強化・安定化
- **配当性向50%水準**へ引き上げ
- ・業績目標の達成度に応じた配当性向の向上

- ・不足するケイパビリティの獲得、および事業構造の転換を図るための**戦略的M&Aの遂行**
- ・戦略パートナー化に向けた**高度専門人財の確保、育成の強化**
- ・研究開発・自社デジタルソリューション開発、およびデジタル変革推進に係る開発



3 2027年3月期の見通し



- 地政学リスク顕在化に伴うインフレ加速懸念等により、企業の業績不透明感が増している。しかし、生産性向上を目的とした企業のDX投資は依然として継続すると見ている。また、競合他社や生成AIに代替されない強みを、急速に進化する生成AIでさらに伸ばすことで、**当社グループの受注は堅調に推移すると見込む**。
- 「中期経営計画2026」最終年度の目標を上方修正。2026年度、7つの成長戦略を仕上げ、**10%増収の売上高715億円**を目指す。
- 今後の状況や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示する。

[単位：百万円未満切捨]

| 2 Q 累 計 | 26/03期 | | | | | | 27/03期 | |
|------------------|--------------|-----------|---------------|-----------|--------|---------------------|---------------|---------------|
| | 25/5/9 予想 | 前年 同期比 | 実績 | 前年 同期比 | 達成率 | 26/5/8 予想 | 前年 同期比 | |
| | 売上高 | 31,100 | 109.1% | 30,952 | 108.6% | 99.5% | 34,360 | 111.0% |
| 売上総利益 | | | 5,981 (19.3%) | 107.9% | | | | |
| 営業利益 | 2,870 (9.2%) | 110.0% | 2,720 (8.8%) | 104.3% | 94.8% | 2,920 (8.5%) | 107.3% | |
| 経常利益 | 2,890 (9.3%) | 104.6% | 2,867 (9.3%) | 103.8% | 99.2% | 2,990 (8.7%) | 104.3% | |
| 純利益 | 1,950 (6.3%) | 103.8% | 2,054 (6.6%) | 109.3% | 105.3% | 2,085 (6.1%) | 101.5% | |
| EPS 円/株 | 47.58 | | 50.18 | | | 51.62 | | |

| 通 期 | 26/03期 | | | | | | 27/03期 | |
|---------|---------------|-----------|----------------|-----------|--------|----------------------|---------------|---------------|
| | 25/5/9 予想 | 前年 同期比 | 実績 | 前年 同期比 | 達成率 | 26/5/8 予想 | 前年 同期比 | |
| | 売上高 | 64,000 | 108.9% | 64,676 | 110.1% | 101.1% | 71,500 | 110.5% |
| 売上総利益 | | | 13,110 (20.3%) | 111.3% | | | | |
| 営業利益 | 7,000 (10.9%) | 117.0% | 6,605 (10.2%) | 110.4% | 94.4% | 8,000 (11.2%) | 121.1% | |
| 経常利益 | 7,140 (11.2%) | 113.5% | 6,980 (10.8%) | 111.0% | 97.8% | 8,200 (11.5%) | 117.5% | |
| 純利益 | 4,900 (7.7%) | 111.2% | 5,279 (8.2%) | 119.8% | 107.7% | 5,530 (7.7%) | 104.8% | |
| EPS 円/株 | 121.29 | | 129.82 | | | 136.90 | | |

【注】 () 内の数字は各々の利益率を表します。「純利益」は「親会社に帰属する当期純利益」です。



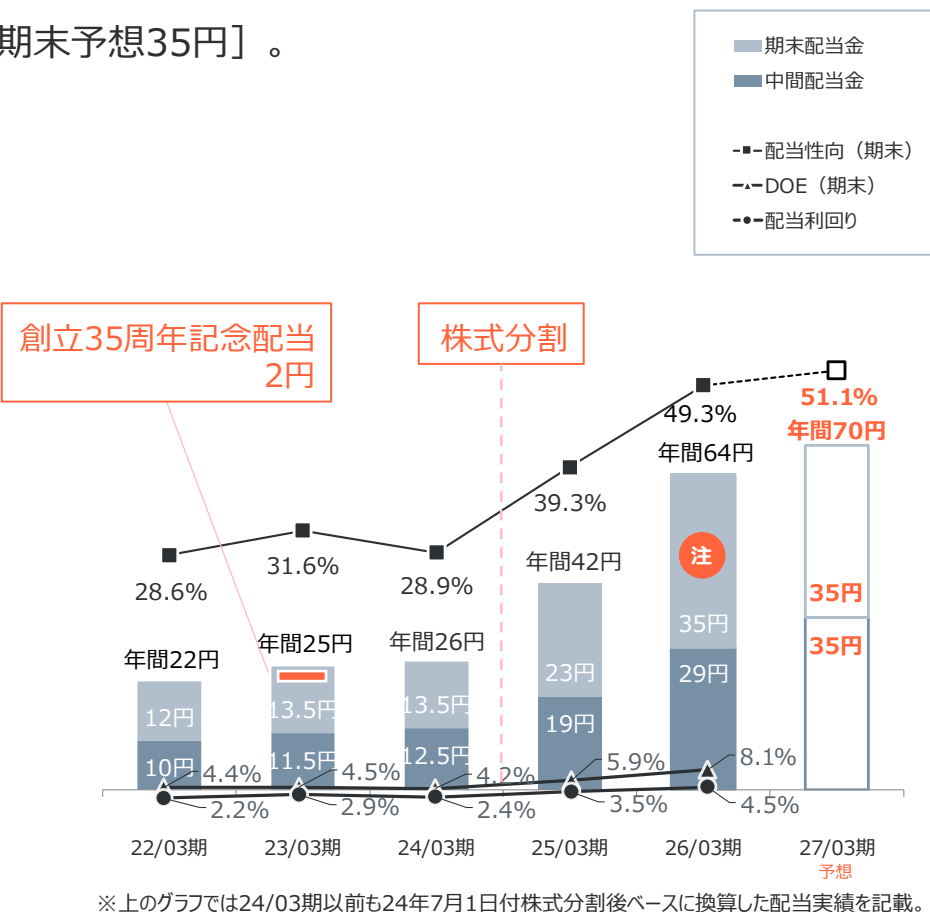
- 2026年3月期の普通配当を64円に増配 [中間実績29円、期末予想35円]。
- 2027年3月期の普通配当を70円に増配 [中間予想35円、期末予想35円]。

| | 24/03期 | 25/03期 | 26/03期 | 27/03期 | |
|--------|---------|---------|---------|-----------|------|
| | 実績 | 実績 | 実績 | 26/5/8 予想 | 増減 |
| 中間 | 25円 | 19円 | 29円 | 35円 | 6円 |
| 期末 | 27円 | 23円 | 35円 | 35円 | 0円 |
| 年間 | 52円 | 42円 | 64円 | 70円 | 6円 |
| 配当性向 | 28.9% | 39.3% | 49.3% | 51.1% | 1.8% |
| 配当利回り | 2.4% | 3.5% | 4.5% | | |
| DOE | 4.2% | 5.9% | 8.1% | | |
| 配当金の総額 | 1070百万円 | 1731百万円 | 2588百万円 | | |

[配当金の総額：百万円未満切捨]

株主還元方針

- 当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を維持することを基本方針としております。
- 特段の株主優待は行っておりません。
- 配当に関しましては、原則、親会社株主に帰属する当期純利益の50%を目途に継続的に実現することを目指してまいります。



注 2026年5月8日に以下の株主還元策を公表いたしました。

- ・2026年3月期の期末配当予想を、2025年5月9日公表の29円から35円に上方修正いたします。
- ・2026年5月11日から2026年11月30日まで、「合計1,000,000株または20億円」を上限に、自社株買いを実施する予定です。



ご参考

ご参考  1) 連結子会社の変遷

| | 2023年3月期 | | | | 2024年3月期 | | | | 2025年3月期 | | | | 2026年3月期 | | | | 2027年3月期 | | | |
|--|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----|----|----|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| クレスコ・イー・ソリューション | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| クレスコワイヤレス 【※4】 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | / | / | / | / | / | / | / | / | | | |
| アイオス | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| クレスコ北陸 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| シーサー | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| クレスコ・デジタルテクノロジーズ | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| メクゼス | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| エヌシステム | ● | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | | | |
| ネクサス | ● | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | | | |
| アルス | ● | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | | | |
| クレスコ・ジェイキューブ 【※1】 | / | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| クレスコベトナム | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| エニシアス | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| クレスコ・ネクシオ 【※2】 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 日本ソフトウェアデザイン 【※5】 | / | / | / | ● | ● | ● | ● | ● | ● | / | / | / | / | / | / | / | / | | | |
| ジェット・テクノロジーズ 【※3】 | / | / | / | / | / | / | / | / | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| オフィスメーション 【※6】 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | ● | | | |
| 子会社総数 | 13 | 11 | 11 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 13 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 12 | | | |

【※1】 2022年7月1日付けで連結子会社3社(アルス、エヌシステム、ネクサス)を合併し、「(株)クレスコ・ジェイキューブ」として再編

【※2】 2023年10月1日付けで「OEC」は「クレスコ・ネクシオ」に商号変更

【※3】 2024年4月1日付けで「ジェット・テクノロジーズ(株)」を子会社化

【※4】 2024年6月14日付けで「クレスコワイヤレス」の株式譲渡

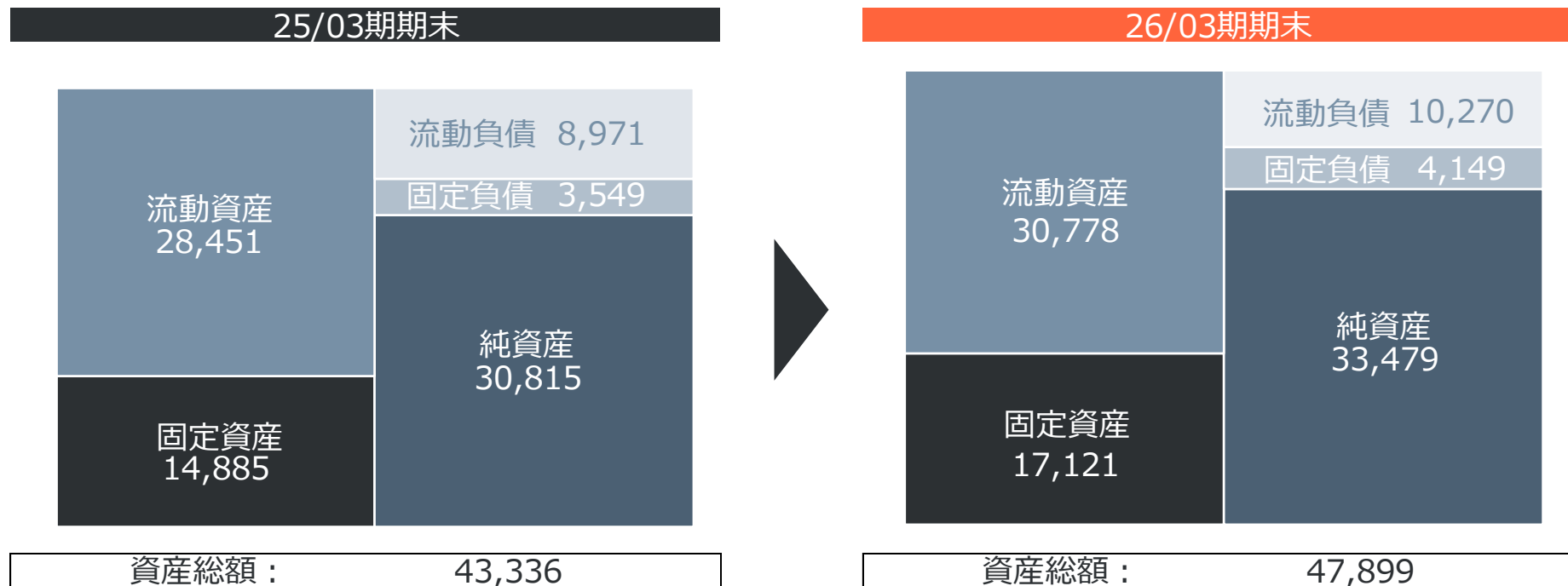
【※5】 2024年7月1日付けで「メクゼス」が「日本ソフトウェアデザイン」を統合

【※6】 2026年4月1日付けで「(株)オフィスメーション」を子会社化

ご参考 ※ 2) 資産・負債の状況

[単位：百万円未満切捨]

- 資産総額は、前連結会計年度末に比べて**45億63百万円増加**し、478億99百万円。



- 流動資産 ↑ 前連結会計年度末比 23億26百万円増加
増加：仮払金… 8億11百万円、契約資産… 7億76百万円、売掛金… 6億56百万円、現金及び貯金… 1億44百万円
減少：電子記録債権… 2億49百万円、仕掛品… 1億36百万円
- 固定資産 ↑ 前連結会計年度末比 22億36百万円増加
増加：投資有価証券… 8億95百万円、建物… 7億85百万円、繰延税金資産… 1億62百万円、保険積立金… 1億67百万円、工具、器具及び備品… 1億36百万円
- 流動負債 ↑ 前連結会計年度末比 12億99百万円増加
増加：買掛金… 4億35百万円、契約負債… 3億45百万円、未払法人税等… 2億70百万円、未払金… 1億44百万円、賞与引当金… 1億39百万円
- 固定負債 ↑ 前連結会計年度末比 5億99百万円増加
増加：繰延税金負債… 4億97百万円、資産除去債務… 2億48百万円、役員退職慰労引当金… 1億30百万円、退職給付に係る負債… 1億13百万円
減少：長期借入金… 3億98百万円
- 純資産 ↑ 前連結会計年度末比 26億63百万円増加
増加：自己株式… 14億25百万円、利益剰余金… 31億55百万円、その他有価証券評価差額金… 8億54百万円

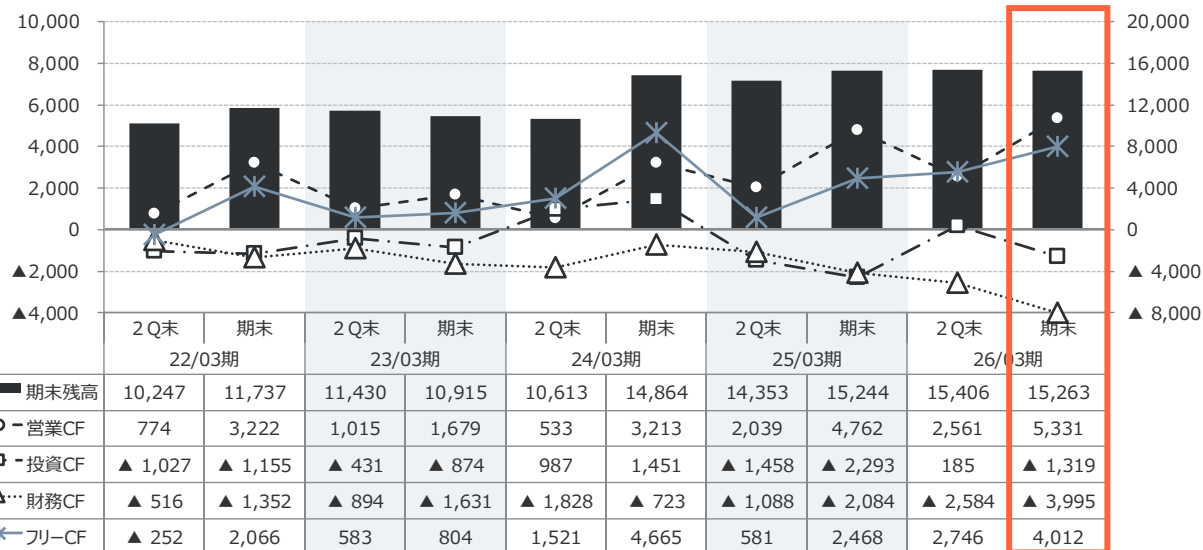
ご参考 3) キャッシュフローの状況

[単位：百万円未満切捨]

- 現金および現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べて**18百万円増加**し、152億63百万円。

| | | 24/03期 | | 25/03期 | | 26/03期 | |
|-----------------|------|---------|--------|---------|---------|---------|----------------|
| | | 2 Q末 | 期末 | 2 Q末 | 期末 | 2 Q末 | 期末 |
| キャッシュ・フロー | 営業活動 | 533 | 3,213 | 2,039 | 4,762 | 2,561 | 5,331 |
| | 投資活動 | 987 | 1,451 | ▲ 1,458 | ▲ 2,293 | 185 | ▲ 1,319 |
| | 財務活動 | ▲ 1,828 | ▲ 723 | ▲ 1,088 | ▲ 2,084 | ▲ 2,584 | ▲ 3,995 |
| フリー・キャッシュ・フロー | | 1,521 | 4,665 | 581 | 2,468 | 2,746 | 4,012 |
| キャッシュ・フロー増減 | | ▲ 302 | 3,949 | ▲ 510 | 380 | 161 | 18 |
| 現金および現金同等物の期末残高 | | 10,613 | 14,864 | 14,353 | 15,244 | 15,406 | 15,263 |

| ■ 営業CF | 53億31百万円の収入 |
|---------------|-------------|
| 法人税等の支払額 … | 20億3百万円 |
| 契約資産の増加額 … | 7億76百万円 |
| 税金等調整前当期純利益 … | 75億41百万円 |
| 仕入債務の増加額 … | 4億14百万円 |
| 未払金の増加額 … | 1億39百万円 |
| 賞与引当金の増加額 … | 1億30百万円 |

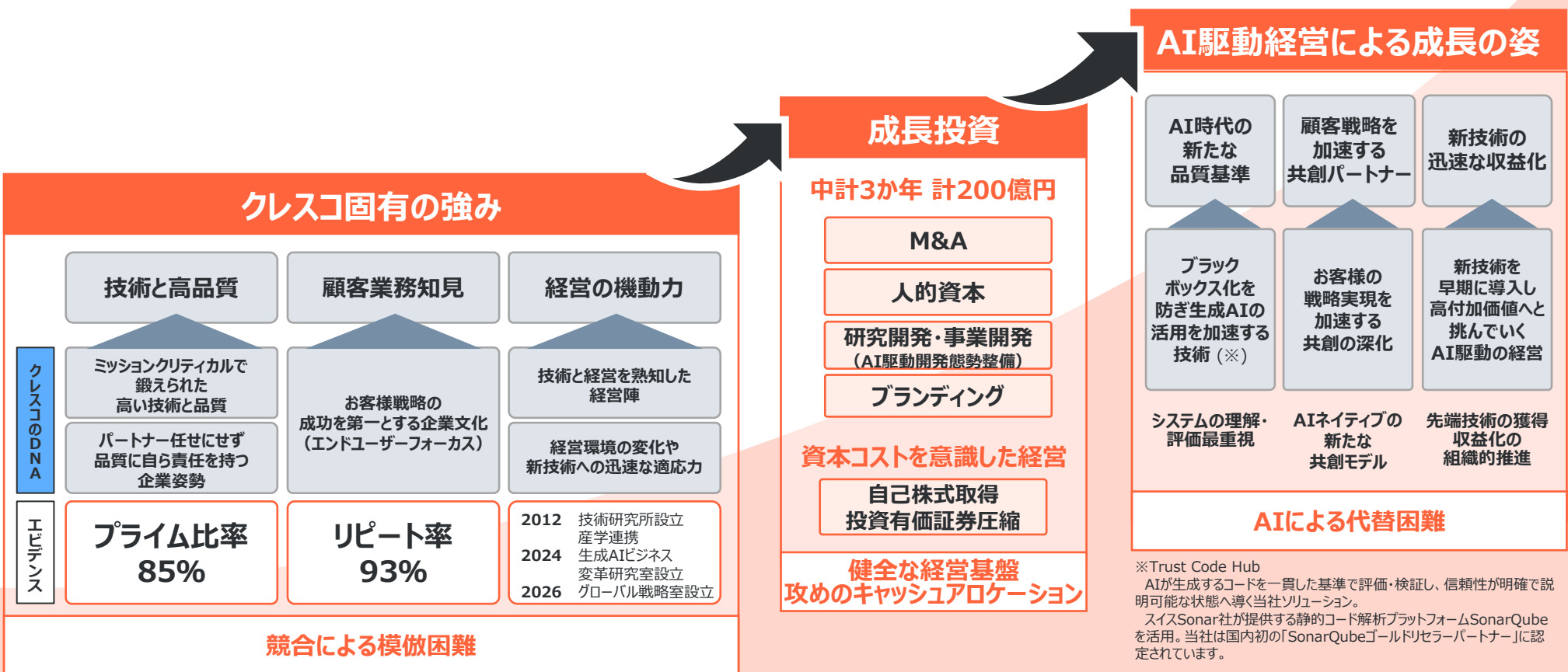


| ■ 投資CF | 13億19百万円の支出 |
|---------------------------|-------------|
| 投資有価証券の売却による収入 … | 6億96百万円 |
| 投資有価証券の償還による収入 … | 5億43百万円 |
| 有形固定資産の取得による支出 … | 8億50百万円 |
| (株)オフィスメーションの株式購入代金の支出 … | 8億13百万円 |
| 連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 … | 4億50百万円 |
| 投資有価証券の取得による支出 … | 3億82百万円 |
| 無形固定資産の取得による支出 … | 1億75百万円 |

| ■ 財務CF | 39億95百万円の支出 |
|-----------------|-------------|
| 配当の支払額 … | 21億22百万円 |
| 自己株式の取得による支出 … | 15億2百万円 |
| 長期借入金の返済による支出 … | 4億58百万円 |

ご参考 ※ 4) 生成AI時代に新たな品質基準で成長するクレスコ

- クレスコは、創業以来鍛えた技術を生成AIで新たな品質基準に進化させ、お客様の戦略実現を加速する共創パートナーへ成長する。
- 技術の進化を常に先取りすることで、先端技術をお客様とクレスコの企業価値に転換し、次世代のS I 事業モデルへの進化を推進する。



※Trust Code Hub
 AIが生成するコードを一貫した基準で評価・検証し、信頼性が明確で説明可能な状態へ導く当社ソリューション。
 スイスSonar社が提供する静的コード解析プラットフォームSonarQubeを活用。当社は国内初の「SonarQubeゴールドリセラーパートナー」に認定されています。

技術を常に先取りする クレスコの取り組み

| | | | | | | | | | |
|-----------|---------|-----------------|----------------|--------------------------|-------------------|-------------|---|------------|-------------------|
| 創業 | 技術研設立 | 産学連携 (医療/モビリティ) | 社内生成AI CrePT開発 | 生成AIビジネス変革研究室設立 | TrustCodeHub 提供開始 | AI駆動開発 全社展開 | CRESCO Group Ambition 2030 売上高1,000億円を目指す | | |
| 1988 | 2000 | 2010 | 2020 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2030 | |
| 情報技術進化の歩み | メインフレーム | クライアントサーバー | インターネット | クラウド/ビッグデータ モバイル/ソーシャル技術 | 生成AI 黎明期 | RAG 業務活用 | AIエージェントの 加速度的な進化 | AI駆動開発 一般化 | 生成AIを含む ITの加速度的進化 |

ご参考 5) 経営ビジョンと中期経営計画の詳細URL



人が思い描く未来、
その先へ

クレスコグループは
最高のテクノロジーと絆で
“わくわくする未来”を創造します



「経営ビジョン」の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ja/corpinfo/vision.html>

【注】コーポレートロゴ変更に伴い、イメージ画像を変更しました。内容に変更はありません。



「中期経営計画2026」の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ja/ir/operation/plan.html>

中期経営計画

(2024年度~2026年度)

2024年5月10日

CRESKO 

株式会社クレスコ



免責事項等

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容と異なる可能性もございます。予めご了承ください。

【 IRのお問合せ】

IR・ブランディング室

Mail : ir@cresco.co.jp

TEL : 03-5769-8058